奥多摩　日原川 巳ノ戸谷
日程：2009 年 5 月 23 日(土)

メンバー：L 白土(記録)、他 1 名

八丁橋 8:50～9:10 巳ノ戸谷出合～14:50 稜線～17:50 日原集落

1/25000 地形図：武蔵日原、奥多摩湖

　天気がよさそうなので友達の鈴木さんを誘って急遽計画を立てる。白山書房「東京周辺の沢」には仕事道で下山できるとあるが、ネットで調べてみると皆苦労しており、わかりにくくて崩壊も進んでいるらしい。なので時間はかかるが稜線まで詰めて登山道で下山することにした。

　奥多摩駅で合流し、下山口の日原に折りたたみ自転車をデポする。八丁橋に車を停め、林道を 15 分ほど歩いて巳ノ戸沢出合へ踏跡をたどりながら下りる。巳ノ戸沢に入ってほどなくすると 15m の滝が現れる。左岸を巻く。そしてこの沢のメインであるゴルジュ帯にさしかかる。連瀑帯で楽しい部分だ。3 段目の 8m が核心ということで、ザイルを出し水流左を登る。残置ハーケン+シュリンゲが 3 本垂れ下がっている。遡行図ではIII級となっているがIV級と思う。3m のあと 6m は鈴木さんがリードする。左壁を登り、水流方向へ右にトラバースするのがルートのようだが、左壁を直進するがかなり悪い。その後もいくつか滝が現れるがザイルを出したのはこの 2 箇所。沢の上部はだいぶ崩壊が進み、倒木も多い。1280m の二俣では左を進み、やがて水流は枯れる。藪こぎもなく、稜線に出た。登山道を少し歩いて鷹ノ巣避難小屋で休憩。ここで元会員の富田さんにばったり会った。友人と他の沢を登ったようだ。さがみ山友会の HP も時々見ているよ、ということで久々の再会に話が弾んだ。下山登山道の途中にある立派な稲村岩を巻いて日原に戻った。ここから自転車で 10 分ほど走って車を回収。帰りに　林道にある白妙の岩場を見学。鈴木さんはよくひとりで来るらしい。

　沢では誰にも会わず静かな遡行だった。登れる滝もいくつかあり、なかなか楽しい沢だった。